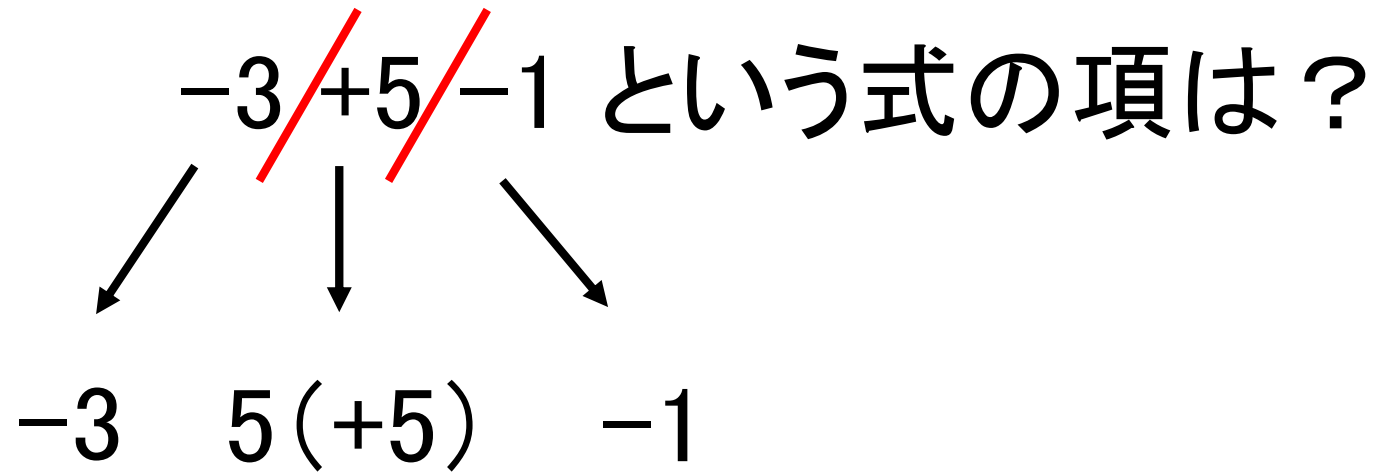


単項式と多項式

そもそも項ってなんやっけ？



つまり、 $-3 + 5 - 1$ という式の項は $-3, 5, -1$

単項式と多項式

$2x$, -3 , $\frac{1}{3}a^3$ のように数や文字についての乗法だけで作られた式を**単項式**という。

$3x+10$, $2x^2+x-4$ などのように、単項式の和の形で表された式を**多項式**といい、そのひとつひとつの単項式を、多項式の**項**という。

$$2x^2 / +x / -4 \text{ の項は } \longrightarrow 2x^2, x, -4$$

単項式の次数

単項式でかけられている文字の個数を、その式の
次数という。

たとえば…

文字が2個

$$3ab = 3 \times \overbrace{a \times b} \Rightarrow \text{次数は} 2$$

ではこれなら…？

~~①~~ $-4x^2y = -4 \times x^2 \times y$ →

文字が2個だから
次数は2？

~~②~~ $-4x^2y = -4 \times x \times x \times y$ →

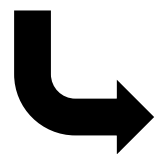
文字が2種類だから
次数は2？

③ $-4x^2y = -4 \times x \times x \times y$ →

文字が3個だから
次数は3！

多項式の次数

多項式では、各項の次数のうちでもっとも大きいものをその多項式の次数という。



最高次数に注目せよ！

また、次数が1の式を1次式、次数が2の式を2次式という。

$x^3 + 4x^2 - 5x$ は何次式？

$x^3 + 4x^2 - 5x$

x^3 … 次数 3 $4x^2$ … 次数 2 $-5x$ … 次数 1

➡ 最高次数は3！つまり 3次式